

これからを生き抜くための 肥育経営のお話し

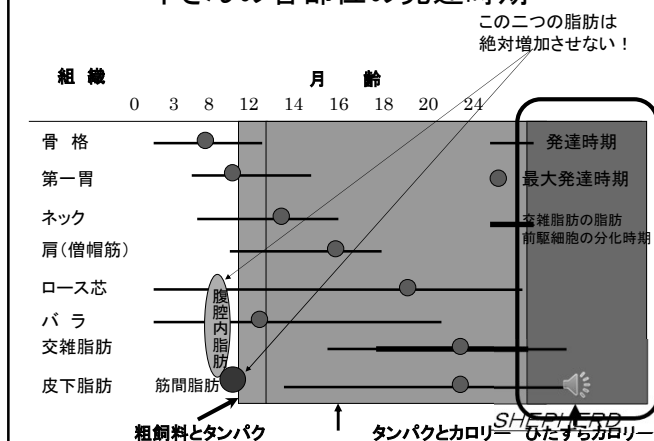
(有)シェパード
中央家畜診療所



第8回目の今回は
後期と仕上げについての
お話その1です



牛さんの各部位の発達時期



肥育後期は骨格や筋肉の成長が
一段落して脂肪蓄積(サシの第2段階)
や脂肪質を整え牛さんを老化(枯れ)
させる時期です



筋肉の発育は一段落するので
その材料であるタンパク質の要求量
は減少しおもにカロリー主体の飼料に
していきます



タンパク質の給与量が多すぎると
不要なタンパク質の老廃物である
アンモニアの害で肉色が悪くなったり
します (次回 肉色のお話で詳しく)



カロリーも単に上げるだけでなく
脂肪質の調整のために油脂系飼料を
増やしていきます

 SHEPHERD

デンプンや糖から作られる脂肪は
白くて硬く融点の高い(口溶けの悪い)タイプ
油脂から作られる脂肪はクリーム色で
融点の低い(口溶けのよい)タイプ

 SHEPHERD

素人目に見て素晴らしくパンパン
に仕上がったように見える牛は
まだ老化が足りません

↓
サシの後伸びがない

 SHEPHERD



素人目に見るといい牛に見えますが
まだ結れかたが足りません

 SHEPHERD



尾の付け根がめり込んでいく

この付近を押さえたときゴゴゴではなく
グッと反発を感じるようになる


胸垂が絞れて
小さく縮んでいく

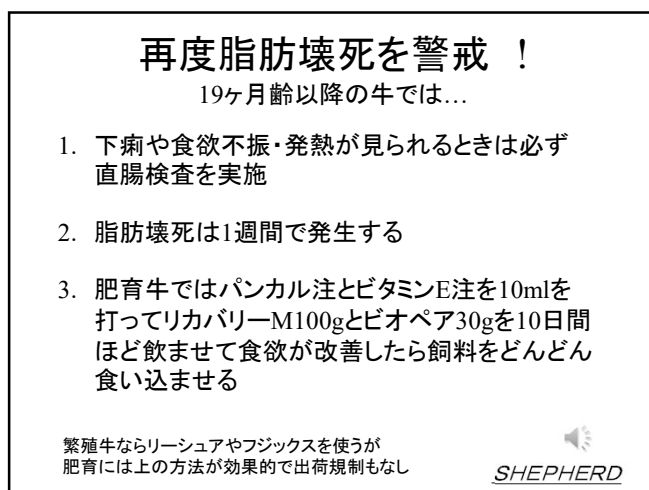
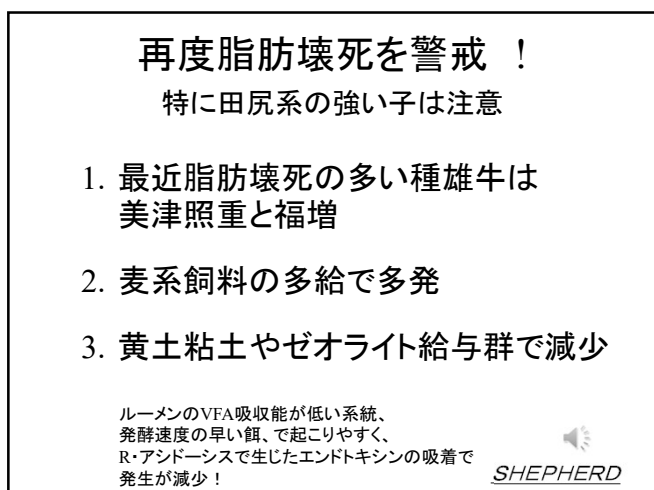
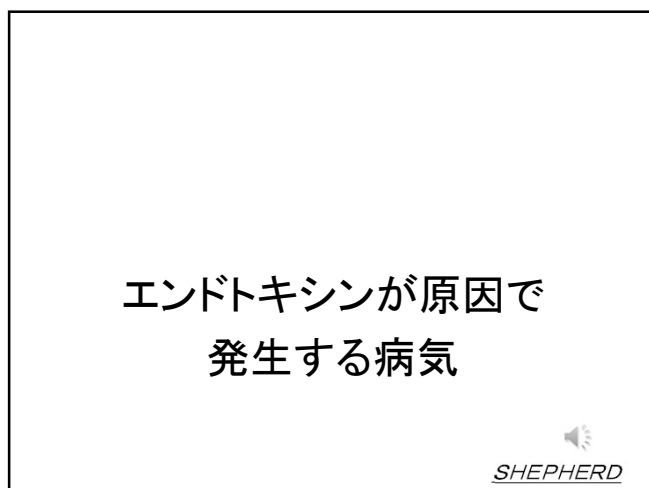
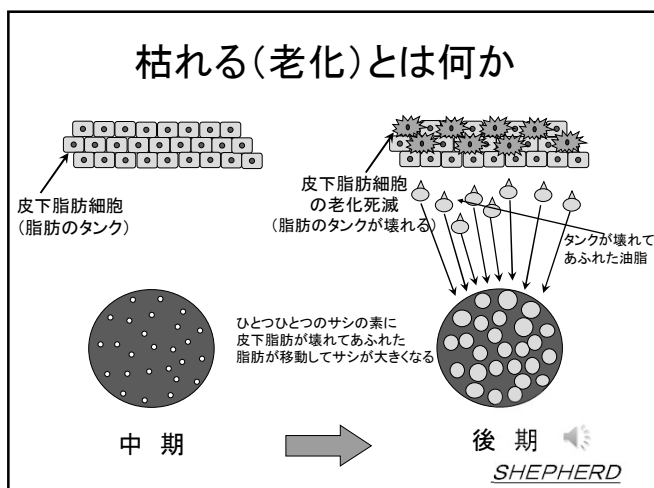
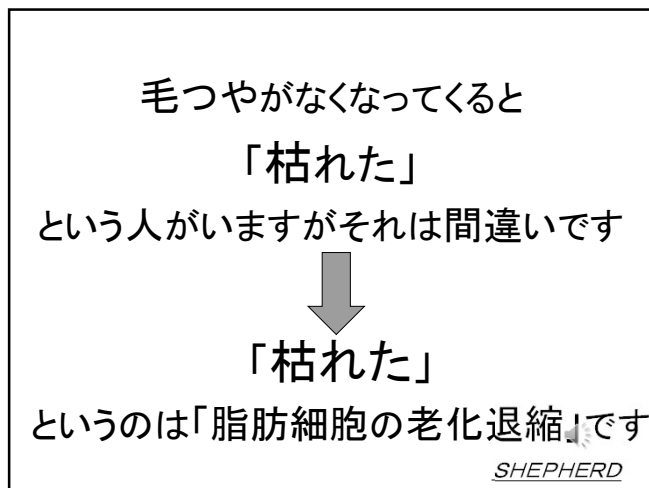
枯れた牛の判断の仕方

 SHEPHERD



空襲しているため陰嚢の中は空っぽのはずなのだが
「補空肥大」として空洞を脂肪が埋めるので
中期には陰嚢が膨れて大きくなっている
後期には皮下脂肪と同じく陰嚢内脂肪も退縮するので陰嚢が縮む

去勢牛では陰嚢の縮みも判断材料  SHEPHERD



デンプンや糖の消化関係

こんな感じの牛さんには注意



SHEPHERD

デンプンや糖の消化関係

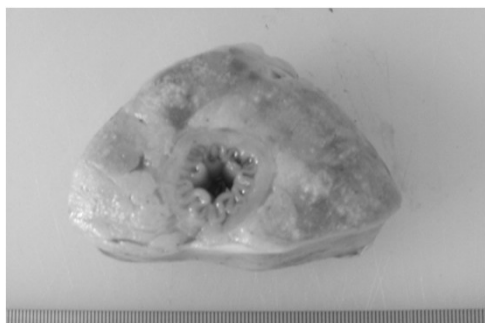
脂肪壊死症は怖いよ



SHEPHERD

デンプンや糖の消化関係

脂肪壊死症は怖いよ



SHEPHERD

8, 今週はここまで!

お見逃し配信は、TELASAまたはHuLuで
(うっそです)

SHEPHERD